まず冒頭お伝えしたいのは今回の統一地方選挙ですが、目黒の区議を決める選挙であると同時にもう一つ大事な側面があります。それは、消費税１０％の是非を決める選挙です。

自民党の国会議員（人名）が消費税１０％増税は６月の動向をみて決めると発言しました。これは大いに世論が自民党を追い詰めている証拠です。全国の統一地方選挙で日本共産党を躍進させてください。

また目黒では私、芋川ゆうきを・・・（ご支援のお願い）

さて、私、芋川ゆうきが日本共産党に入党をし、目黒の区議に挑戦をした理由ですが大きく２つあります。

一つは、誰もが安心して人間らしく働ける社会をつくりたいからです。

私、芋川ゆうきは大手通信社（ソフトバンク）で１０年、管理職で勤めてきました。その中で、労働者の使い捨て、若者の使い捨てを経験してきた一人です。長時間労働や過度の実績へのプレッシャーで、月の残業時間は過労死ラインといわれる８０時間をはるかに超える１００時間以上の残業を経験しました、同僚や部下が精神疾患やうつ病になり、何人も退職をしていくという事を体験しました。中でも、同僚が過労を原因で命を落とすという事が起きました。また、一緒に働いていた２８歳の女性は、からだの調子が悪い中でも激務の中で休むことが出来ず、気づいたころには手遅れのがんにかかっており、息を引き取るということが起こりました。彼女は生前、お付き合いしていた男性とささやかな結婚式を挙げたそうです。

長時間労働、非正規雇用があたりまえになっている現状を変え、誰もが安心して人間らしく働ける社会を作りたいです。

日本共産党は企業目線ではなく国民目線からものごとを考え、かつ実行をしている政党です。私、芋川ゆうきは日本共産党員として自分の思いを実現していきたいと決意しました。

二つ目は、この目黒の福祉をさらに大きく前進させたいからです。私はがんの専門医と「くらしの保健室」を作りました。病気を抱えながら生活している人や仕事をしている人、またそのご家族が気軽に医師と相談できるカフェです。２年間で延べ６００人以上が相談に来ています。また、その経験を活かし目黒区でも星見てい子都議となんでも相談会を毎週行っております。この相談を通して、目黒の介護や福祉の現状を知りました。一緒に住んでいる母親がだんだん年をとり、介護が必要になって区に相談に行ったが同居をしているからとサービスを使うことができず、自分の仕事を変えるかしなければならない状況になった。まさに「保険あって介護なし」の状態です。中には介護をするために、仕事を夜勤に変えたら今度は自分の体調が思わしくなくなってしまった。など、介護に携わることで今後の自分の生活が行き詰ってしまう人も少なくありません。みなさんはどうですか。私は、介護をする人もされる人も安心して生活していくことができるために、目黒区の福祉をさらに前進させていかなければと思ったからです。

では私、芋川ゆうきは目黒で何を変えていくか。大きく３つあります。

一つ目は、在宅介護サービスの拡充と特別養護老人ホームの増設です。

二つ目は、子育て世代への支援です。区民が求める区立の認可保育園の増設と小学校中学校の給食費無料化、少人数学級による豊かな教育を作ります。

　三つ目は、高すぎる国民健康保険料の引き下げです。

現状、新たに区立の認可保育園を２園廃止することを決定いたしました。私、芋川ゆうきも２歳の娘がおりますが、保育園に入ることができない経験をして苦労しています、本当に許せません。区民の声の過半数以上が区立の認可保育園を求めていますが、全く後ろを向いた区政になってしまっています。さらに目黒区は国民健康保険料を毎年毎年値上げの一途をたどり、この４年間で一人当たり２万円もの負担が増えました。目黒区は２５％、４世帯に１世帯が滞納せざるを得ない現状です。制度としても破綻しかかっている状態です。このどれもが目黒区政の与党である自民党、公明党によって行われています。

（財源はあります、目黒区はこの５年間で区民のくらしや福祉を削ってためこみ金を３．５倍２００憶円以上ためこんでいます。この一部を区民のために活用すれば、区民の願いにこたえる政策が実現できます。自民党は、ためこみ金は「災害や不況への備え」と弁明していますが、このお金は、もともと福祉や防災の予算を削ってため込んだものです。「不況の備え」というなら、今こそ、ため込み金を活用すべき時ではないでしょうか。国政では野党の立憲民主党も、区政では値上げ条例や税金のため込みに賛成しています。目黒でも、「自民党から抜け出す政治」をつらぬくべきではないでしょうか。）

また国政でも自民党・公明党が消費税の増税をしようとしています。今の冷え切った景気の中で消費税は上げるべきではない。日本共産党は消費税に頼らない政策を提案しています。大企業に応分の負担を求め、１０００憶円以上の株式資産を持つ、一部富裕層にも欧米諸国並みの源泉分離課税を求めれば、財源は作ることができます。この統一地方選挙にて全国から自民、公明、その補完勢力を少数に追い込んでいき、日本共産党を躍進させてください。

（１９８７年「売上税導入」に対し、その年の統一地方選挙で全国の自民党を大きく後退させ、日本共産党を躍進させていただきました。そしたら売上税導入をストップすることができたのです。）この目黒区でも自民党を減らし、私、芋川ゆうきを・・・（ご支援のお願い）。今からでも消費税増税はストップできます。

政治は必ず変えられる。目黒区では私、芋川ゆうきを・・・（ご支援のお願い）